

1成分形変成シリコン系シーリング材



ボンド 耐火目地用シーラント

『ボンド 耐火目地用シーラント』は変成シリコン樹脂を主成分とする弾力性・変形追従性・接着性に優れた弾性シーリング材で、音・ガス漏れに対する遮へい効果があります。火災時の高熱下で発泡しながら燃焼し、セラミック化することにより火炎の貫通を防ぐ耐火構造用シーリング材です。

JSIA F☆☆☆☆
認定番号 003105

■用 途

- PC板、セメント押し成形板、ALC板の目地
- 耐火・遮音間仕切パネルの目地
- 上記部材とアルミ、鋼板、屋根材など建築部材との取合目地
- 金属製メーターボックスの目地
- 各種配管、ダクトの貫通部目地
- その他、一般建築物の内外装目地

■特 長

火災時の高熱下でシーリング材が発泡膨張すると不燃性の強固な炭化層を形成します。目地の拡張に追従して火炎の貫通を防止するとともに、加熱裏面側の温度上昇を抑えるように設計されたシーリング材です。

- 所定のISO834に基づく標準火災温度曲線に則った1時間の耐火性能(ALC目地)を有します。
- 柔軟で目地の動きに対する追従性が良好です。
- 専用プライマーを使用することにより、広範囲な被着体に良好な接着性を示します。
- 耐候性、耐久性に優れています。
- 耐熱、耐寒性に優れ、-30℃～90℃の温度範囲で長期の使用に耐えます。
- 冬季など低温時の作業性、硬化性に優れています。
- 肉やせ、硬化時の発泡がありません。

■適用プライマー

ボンド シールプライマー		#7	#9
項 目	タイプ	1液型	1液型
	外 観	無色透明液体	淡黄色透明液体
組 成	樹 脂	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系
	主溶剤	酢酸エチル 酢酸ブチル	酢酸エチル
	比 重 (23℃)	0.98±0.05	0.99±0.05
	粘 度 (mPa·s/23℃)	50以下	50以下
	不揮発分 (%)	34±3	31±3
乾 燥 時 間	5℃	60分	60分
	23℃	30分	30分
	35℃	15分	15分
	シーリング材の充てん可能時間 (23℃)	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間
	開封後の処理 (不使用時密栓)	当日内に使い切る	当日内に使い切る
	有効期間 (冷暗所貯蔵)	6ヶ月	6ヶ月
	包装・容量	500g缶入 (12缶/ケース)	500g缶入 (12缶/ケース)
	主用途	汎 用	汎 用
	備 考	無黄変型 第四類第一石油類	直射日光により黄変しますので プライマーのみ出しに注意。 第四類第一石油類

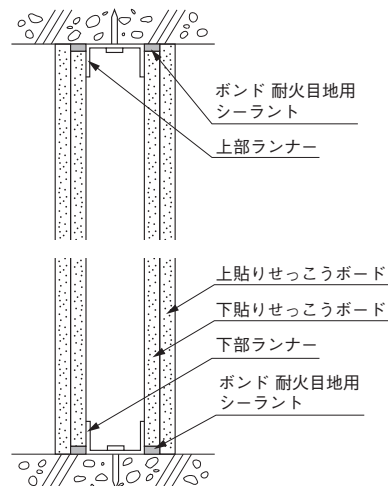
■性状・性能

項 目	ボンド シーリング材		耐火目地用シーラント (中モジュラス)
	ボンド シーリング材		
外 観			ペースト状
押し出し性 (秒)	5℃		6
	23℃		3.5
皮張り時間 (分)	5℃		300~360
	23℃		20~30
	35℃		20以内
指触乾燥時間 (タックフリータイム) (時間)	5℃		24以内
	23℃		5~7
内部硬化 (日) [5mm厚完全硬化]	5℃		15
	23℃		4
充てん後の収縮 (肉やせ)			小
体積損失 (%)			5以下

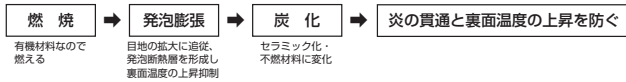
※表中の数値は代表値を示しています。

■施工例

「ボンド 耐火目地用シーラント」の充てんは、せっこうボード下貼り完了の段階で施工すると効果的です。



耐火性能発現メカニズム



信頼の耐火性能

試験方法

一般財団法人建材試験センターが定めた「防耐火性能試験・評価業務方法書」の耐火性能試験評価方法に基づく耐火性能試験に準じて行った。

要求耐火時間：60分(加熱時間60分、試験時間240分)

非耐力壁：ALCパネル

形状・寸法：縦1750×横300×厚さ100mmの板間目地

ALC含水率：3.9%

判定基準

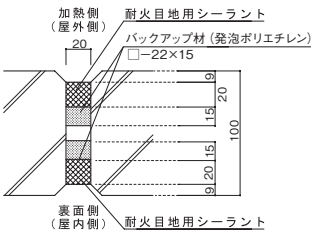
遮熱性	最高裏面温度が初期温度+180℃以下であること
	平均裏面温度が初期温度+140℃以下であること
遮炎性	非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がないこと
	非加熱面で10秒を超えて継続する炎災がないこと 火災が通る亀裂等の損傷を生じないこと

試験結果

模式図は幅20mm・深さ20mmでの目地詳細。

○ 異常なし × 判定基準の何れかに異常あり — 試験未実施

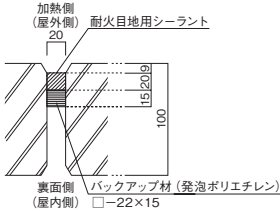
(1) ダブルシールの試験結果



目地深さ(シール厚)(mm)	目地幅(mm)		
	7	10	20
7	○	—	—
10	—	○	—
20	—	—	○

(2) シングルシールの試験結果

(2-1) 屋外側加熱(屋外側シール)の場合



目地深さ(シール厚)(mm)	目地幅(mm)		
	7	10	20
7	×*1	—	—
10	—	×*1	—
15	—	—	×*1
20	—	—	○

*1 炉内に貫通する隙間の発生。

注意事項

本品の取り扱いには、下記の注意事項を守ってください。

■使用上の注意 ①火気に注意する。②作業場所は十分に換気する。③本来の用途以外には使用しない。④皮フにふれないように注意し、必要に応じて保護具を着用する。⑤取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。 **■応急処置** ①皮フや服についたときは、すぐにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。②眼に入ったときは、すぐに洗眼し、医師の手当てを受ける。③誤って飲み込んだときは、早急に医師の診察を受ける。 **■保管上の注意** ①子供の手の届かないところに保管する。②直射日光を避け、温度が5～35℃の湿気の少ない涼しい場所で保管する。③開封後は原則として使いきるようにする。残ったときは完全密封して、湿気の少ない涼しい場所に保管する。 **■廃棄上の注意** ①廃棄は法令に従うこと。

[シールプライマー]の取り扱いには、それぞれ下記の注意事項も加えて守ってください。

引火性の液体です。有機溶剤中毒の恐れがあります。使用後も溶剤臭がなくなるまで換気してください。

皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれや中毒、その他の健康障害を起こす恐れがあります。

①本来の用途以外には使用しない。②作業場所には、局所排気装置を設ける。③必要な保護具を着用する。④取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。⑤蒸気などを吸い気が悪くなった時は、空気の清浄な場所で安静にする。⑥異常を感じた時は、必要に応じて医師の診察を受ける。⑦廃棄は法令に従うこと。●本品を塗布した上から、乾燥後～8時間以内にシーリング材を施工してください。●開封後の処理(不使用時密栓):当日中に使いきるようにしてください。●保管条件:5～35℃。直射日光を避けて保管。湿気厳禁。

※より詳細な情報はSDSをお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

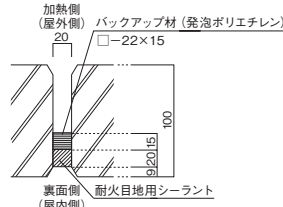
※耐火性能は部材・目地仕様等の影響を受けるため、用途・施行実績に例示した目地は、必ずしも耐火性能(1時間)が担保されるものではありません。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませよう願いたします。(記載の性状などは2018年8月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願いたします。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

(2-2) 屋外側加熱(屋内側シール)の場合



目地深さ(シール厚)(mm)	目地幅(mm)		
	7	10	20
7	○	—	—
10	—	○	—
15	—	—	×*2
20	—	—	○

*2 最高裏面温度が規定値(202℃)を超える。(測定値:203℃)

ガス透過性

ガス	シーリング材	ボンド 耐火目地用シーラント
水蒸気(g/cm ² ・24hr×10 ⁻¹¹) JIS Z 0208		260
酸素(ml/m ² ・24hr・atm×10 ⁻⁹) JIS Z 1717		320
窒素(ml/m ² ・24hr・atm×10 ⁻⁹) JIS Z 1717		140

目地設計の目安

1本あたりの概算施工m数

目地深さ(シール厚)mm*1	目地幅mm			
	7	10	15	20
7	5.6	3.9		
10		2.7	1.8	1.3
12			1.5	1.1
15				0.9

※1 目地深さが深い程、耐火性能においては有利になります。目地深さは出来るだけ上記目安値以上目地幅以内になるよう設計してください。ロス20%折り込み数量ですので、状況によって増減する場合があります。

色調

グレー、ホワイト

梱包容量

333mlカートリッジ……20本(10本×2)入り/1ケース

コニシ株式会社

<http://www.bond.co.jp/>

大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(217)8624
福岡支店 TEL092(551)1764
横浜支店 TEL045(514)2450
札幌支店 TEL011(731)0351

仙台営業所 TEL022(342)1393
前橋営業所 TEL027(289)8313
栃木営業所 TEL0285(43)1511
千葉営業所 TEL043(305)5970

静岡営業所 TEL054(654)2552
金沢営業所 TEL076(223)1565
滋賀営業所 TEL0748(70)5577
姫路営業所 TEL079(235)1021

高松営業所 TEL087(835)2020
広島営業所 TEL082(507)1911
沖縄営業所 TEL098(884)7521